


様式第4号（第5条関係）

平成30年3月31日

古賀市議会議長

議員名 阿部 友子 

平成29年度政務活動費収支報告について

古賀市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項に基づき、別紙のとおり政務活動費収支報告書を提出します。

- 1 平成29年度政務活動費収支報告書
- 2 添付書類
  - (1) 政務活動費収支報告書（別紙1）
  - (2) 政務活動費支出内訳書（別紙2）
  - (3) 領収書又はこれに準ずる書類

別紙1

平成29年度政務活動費収支報告書

議員名 阿部友子

1 収入

政務活動費 120,000 円

2 支出

項目	金額(円)	支出内訳書の番号
調査研究費	33,890円	1
研修費	41,590円	2
広報費	323,334円	3
広聴費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	12,684円	4
事務費	0	
支出合計	411,498円	

3 残額 △291,498 円

## 平成29年度政務活動費支出内訳書

阿部友子

番号	期 間	内 容	経費 (円)	備 考
1	平成29年5月11日 ～12日	会派視察 門真市、名張市	33,890円	報告書添付
2	平成29年5月18日 ～19日	・第9回2017年度日本自 治創造学会研究大会	41,590円	報告書添付
3	平成29年5月～平成 30年3月	広報紙発行費	323,334円	4回発行 別途添付
4	平成29年4月 ～平成30年3月	書籍購入費	12,684円	地方議会人、 子ども白書、子 どものからだと 心白書
	合 計		411,498円	

※研修及び視察には報告書を添付のこと

参考様式

支出内訳書の番号 1	
調査研究報告書	
1 名称	会派行政視察 門真市（大阪府） 名張市（三重県）
2 目的	門真市 子ども議会の開催について 名張市 地域づくりについて
3 実施時期	平成29年5月11日～12日
4 実施場所	門真市役所 名張市役所
5 参加者	阿部・清原・吉住
6 その他	報告書添付

## 平成29年度市政務活動費による調査研究活動報告

2017（平成29）年6月6日記

古賀市議会会派「連」阿部友子・清原哲史・吉住長敏（記録）

本会派3名は18歳以上の選挙権拡大となった時勢にかんがみ、主権者である市民広聴活動の一端としての「子ども議会」の視察に、12平方キロメートル、人口12万人の過密都市の大阪府門真市を訪問。及び本年3月議会で継続審議、総務委員会付託となったまちづくり条例に関連する地域組織の見直しと連動する「ゆめづくり地域予算制度」を実施している、人口8万人の三重県名張市の先進的取組みを伺うために訪問、有意義な調査研究活動を行なった。

### 大阪府門真市

1. 日時 平成29年5月11日（木）13時30分～15時20分

2. 場所 門真市議会会議室

3. 迎接者 門真市議会議長 土山重樹（敬称略以下同じ）  
議会事務局課長 隈本実 同次長 坂本裕

4. 説明者 市民生活部地域政策課  
課長 大蔵善充 課長補佐 澤井良平  
市民生活部文化・自治振興課  
課長 丹路保浩 課長補佐 文能 務

### 5. 事前の研修予定項目・問題意識

- 1) 子ども議会（4テーマで約2時間、持ち時間15分程度）で隔年実施の事情
- 2) 業務の所管の変遷
- 3) 条例や規則上の位置づけ
- 4) 条例や規則上の位置づけ
- 5) 会議録の公開の経緯
- 6) 選出方法、高校生向けの計画

### 6. 研修で得た要点等

平成14年度から子ども夏休み体験で、子ども広報と子ども議会双方を隔年で実施していたが、子ども広報は応募者減等で平成20年度に廃止。こども議会のみ残って隔年で実施中。直近では28年度実施。隔年実施のため人事異動等で新規に取り組む格好になりやすく事務引継ぎが難しい面もあるとのこと。

条例や規則上の位置づけはないが、子ども議会は、当初から議会側からの求めで「広聴」の業務を所管する部署で始まった。平成29年度から市民部地域政策課が担当。（※前年度の担当組織から2名同席）、教育委員会との調整が微妙であるとのこと。

関係費用は平成28年度28,201円（内訳は回答書）。市長幹部職員の答弁をもらうことから公開は当然として対応。事前に生徒名・保護者名・捺印の「写真、動画等の使用承諾書」をいただく。対象は主に小学生で中学生は2回目。高校生は考えていない。選出方法は広報で2回の環境・福祉・教育・まちづくり4テーマで事前学習（1回目ワークショップ、2回目は各課員助言のもとで質問書完成）と本番当日の参加を条件に公募。しかし、応募がなく校長会を通じて定数22人を確保。

子ども議会の継続に行政、学校側の負担が大きくなってきているようで、苦慮されている様子であった。

## 7. 受け取った資料

- 古賀市議会議員視察に関する質問事項への回答
- 第8回子ども市議会年間スケジュール
- 平成28年度門真市子ども議会実施要領
- 門真市こども議会（記録誌）
- かどま市民のしおり

## まとめ

苦勞しながらも、子ども議会を継続的に実施されてきたことは素晴らしい。主権者教育というより、子どももまちづくりに関わってもらおうという姿勢と見た。未来を担う子ども達を巻き込んで行くことは大事なことである。古賀市では、この点まだ、十分ではないと思うことからぜひ、実施できるように取り組みたい。議会だけでなく、教育委員会にもお願いしていくことは見習いたい。

## 三重県名張市

- 1. 日 時 平成29年5月12日（金） 9時50分～11時50分
- 2. 場 所 名張市役所第1委員会室
- 3. 迎接者 名張市議会事務局次長 及川修子  
総務係長 川本千佳
- 4. 説明者 名張市地域環境部地域担当監  
永岡良仁  
井上富幸  
関森弘康

## 5. 事前の研修予定項目・問題意識

- 1) 公の領域を支える「新しい公」の仕組みを多様な人材でどう取り組んでいるか。
- 2) 15の地域に対する「ゆめづくり交付金」の総額設定に何らかの基準があるか。
- 3) 地域づくり組織は「おおむね小学校を単位とする15の地域」、例外はあるか。
- 4) 15の地域づくり組織の立ち上げ時期は。立ち上げ段階での人的配置は。
- 5) 自治基本条例の制定、区長制度の廃止、地域づくり組織の移行は同時期か

## 6. 研修で得た要点等

同市の地域づくりは亀井利克市長(4期目)の2002年就任直後の財政非常事態宣言、合併是非を問う住民投票で投票率60%で、合併反対70%で単独市制選択の道を選んだことが背景にあるようだった。

市長はこれまで180人の一般職員の削減をはじめとする徹底した行財政経営改革を断行。地域向け補助金や行政区長制度も廃止、15の小学校区単位に「地域のことは地域が行う」、地域ゆめづくり予算制度(一括交付金)にいつまで移行させている。

住民の合意に基づく事業であれば使途自由といったユニークさもある交付金の運用も先駆的といえる。いまでは全域で「小さな行政」が相当浸透している様子で見受けられ、その第3ステージで平成24年4月から、地域づくりと市行政をつなぎ役として、地域部地域担当者3名を専属的に配置、平成28年4月1日から公民館から地域センターとして完全移行を果たしていた。

## 7. 受け取った資料

- 名張市ゆめづくり地域予算制度（平成 28 年度版）
- 名張市ゆめづくり地域予算制度（平成 29 年度版）
- 想定問答メモ
- 名張市議会要覧
- 暮らしのまち名張
- 名張市観光ガイドマップ

### まとめ

財政非常事態宣言をして、町の危機を住民と共有していくというスタンスに立たれた市長のやり方は、ある意味市民の頑張りにつながったものと思う。まちづくりは行政だけが行なうものではないことをわかってもらった上での協働である。区長制度を廃止したことは正解と考える。

担当制をとられたことはとても良いやり方と思った。地域をよく知る職員OBを採用したこともいいなと思う。「地域のことは地域が行う」ことは、住民自治の本旨である。見習うべき点がたくさんあり、有意義な視察であった。

列車予約サービス 列車予約 | 領収書 印刷

インターネット列車予約 領収書

No.041700386367647  
041700386466449

領収書表示日時 : 2017年 04月 17日 13時 25分  
購入日時 : 2017年 04月 17日 13時 24分

阿部 友子 様

ご利用金額 : 25,290円 (消費税等込み)  
【クレジット利用】

乗車日	利用区間	利用人数	利用金額	予約番号
2017/05/11(木)	博多 ~ 新大阪	おとな 1人 子ども 0人	15,000円	67647
2017/05/12(金)	新大阪 ~ 博多	おとな 1人 子ども 0人	10,290円	66449

九州旅客鉄道株式会社

クレジットカード ご利用明細票 (1/1)

4月17日 発売 ¥15,000 - 括 R189

29.-5.-8 50117-03

古賀駅-R発行

クレジットカード ご利用明細票 (1/1)

4月17日 発売 ¥10,290 - 括 R197

29.-5.-8 10120-03

古賀駅-R発行





参考様式

支出内訳書の番号 2	
調査研究報告書	
1 名称	第9回 2017年度日本自治創造学会研究大会
2 目的	「人口減・高齢化を乗り越える」をテーマとして地方自治体の課題について学ぶ
3 実施時期	平成29年5月18日～19日
4 実施場所	東京 明治大学アカデミーコモン棟
5 参加者	阿部
6 その他	報告書添付

## 第9回 日本自治創造学会

# 研究大会 プログラム

### ■ 第1日目 5月18日(木)

◆ 総合司会 荒田 英知(政策シンクタンクPHP総研 主席研究員)

12:00

開場・受付

13:00～13:40

大会挨拶・理事長講演

**地方議員のマナーと新たな議会の責務** ～地方再興に挑戦する具体策～

穂坂 邦夫 ((財)日本自治創造学会理事長)

13:40～14:30

講演

**人口減に挑む** ～解決への処方箋～

吉川 洋 (立正大学教授・財政制度等審議会会長)

14:30～14:40

質疑

14:40～14:50

休憩

14:50～15:40

講演

**自治体のスマート改革**

～東京と大阪の経験をふまえて～

上山 信一 (慶應義塾大学教授・都政改革本部特別顧問)

15:40～15:50

質疑

15:50～17:20

パネルディスカッション

**人口減少と高齢化を乗り越える** ～自治体と地方議会の挑戦～

パネリスト(50音順) 牛山 久仁彦(明治大学政治経済学部教授)

金井 利之(東京大学大学院法学政治学研究科教授)

土居 文朗(慶應義塾大学経済学部教授)

宮台 真司(首都大学東京都市教養学部教授)

コーディネーター

佐々木 信夫(中央大学経済学部教授)

17:20～17:35

質疑

17:45～20:00

改革発表会兼交流会 ～改革大発信・ベスト1の選出・親睦・交流～

## ■ 第2日目 5月19日(金)

9:30～10:15	講演 <b>財政と民主主義の将来—トランプ大統領の影響—</b> 小林 慶一郎(慶應義塾大学教授・キャノングローバル戦略研究所研究主幹)
10:15～10:25	質疑
10:25～11:05	講演 <b>人口減少社会における地域づくりの展望</b> 牧 慎太郎(総務省地域力創造アドバイザー・独立行政法人水資源機構理事)
11:05～11:15	質疑
11:15～11:55	講演 <b>自治体改革の実現力</b> 元吉 由紀子(自治体改善マネジメント研究会代表)
11:55～12:05	質疑
12:05～13:00	昼 食 [12:40～(財)日本自治創造学会総会]
13:00～13:45	講演 <b>人口減における自治体イノベーション</b> 今井 照(福島大学行政政策学類教授)
13:45～13:55	質疑
13:55～14:40	講演 <b>地方議会の役割と再生—メディアと市民の視点から—</b> 谷 隆徳(日本経済新聞編集委員兼論説委員)
14:40～14:50	質疑
14:50～14:55	閉会挨拶 荒田英知((財)日本自治創造学会幹事)

## 調査活動報告書

平成30年3月31日

阿部友子

### 第9回2017年度日本自治創造学会 研究大会

～前例から創造へ～

人口減・高齢化を乗り越える

日時：平成29年5月18日～5月19日

場所：東京 明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール

■8月18日（木）13:00～17:35

○プログラムは別紙参照

#### 〔概要〕

会長穂坂邦夫氏の講演では、議員のマナーの自覚ということで、リーダーの自覚、信頼される議員像などについて具体的に、約束の厳守、情報発信の持続、住民に対する利益供与とその限界などの話があった。

強い人も弱い人も共生できる社会をめざし、市民より一歩先に行く情報の収集とビジョンを持つこと、是々非々でやることなどのことばが心に残り、まだまだ、実行できていない自分を反省した。

#### ＜人口減少に挑む＞吉川洋氏

格差は昔からあって、具体的な取り組みとして社会保障がある。高齢化、経済の長期停滞、家族の変容により格差が拡大している。経済の停滞は、企業がコスト削減を進めたことにより、非正規が40%（30年前は16%）となり、若い人の格差拡大、結婚できない、少子化へとつながっている。資本主義は格差を生むので、社会主義でなくてはならない。格差の防波堤は社会保障。イノベーションが鍵。

#### ＜パネルディスカッション＞

（佐々木）人口減少に取り組むということは、そこから生まれる諸問題にどう取り組むか、どう軟着陸するか。地方創生に躍起になっているが解決になっていない。自分たちの考えでやるしかない。

（金井）1975年から減少がはじまっている。その時に気づいてなかった。今や手遅れ。問題ではなく前提として受け入れなくてはいけない。2人から2人が生まれると維持できるが、出生率を取り上げるのは遅い。子育てしている人としていない人の不公平がある。ライフスタイルの選択として負担のかい離がある。負担の不公平さから子どもを持たない選択をしてしまう、そこが問題である。

子育てしている人としていない人の不公平感、というのにはっとさせられた。

(土居) 社会保障の医療と介護の部分は地方自治体が担う。高齢化が進むにつれて自治体が担うウェイトが増える。社会保障の財源をどこからもってくるか、担い手をどう確保するか課題。社会保障が増えていくので中央頼みになる。

(宮台) 公平な負担、公正な負担というのは無理。リベラルな社会が実現したのはグローバル化する前であって、グローバル化が進むとよそ者を排除する。

少子化は克服できない、マッチングの問題がある。他者をノイズと受け止める。誰もが自分の損得勘定だけで動く。お互いに仲間と思える社会づくりが必要。

(佐々木) 若い人も活躍できる特別委員会をつくるのも議会の仕事ではないか。

老いていく地域社会において、病気を隠さずよぼよぼでもさりげなくやれる議会を。若い人だけしかできないというのはやめてほしい。

■ 8月19日(金) 9:30~14:55

○プログラムは別紙参照

#### [概要]

<財政と民主主義の将来 ~トランプ大統領の影響~>小林慶一郎氏

2020年を過ぎるころには借金国になり、ギリシャ、アルゼンチンと同じような財政危機が迫ってくる。外国の資本を導入しないと国債を支えきれなくなる。財政の課題を民主主義の改革のための課題に置き換えられないか。

トランプ大統領の経済政策、日本への影響は、TPPは当面影響なし、長期的には悪影響をもたらす。保護主義関税・ドル安誘導は悪影響あり。オバマケアの撤廃・改革は見通しがしにくい。

<人口減少社会における地域づくりの展望>牧慎太郎氏

人口減少の何が問題かということと人口の年齢構成と地域バランスが悪いこと。人口減少社会の課題、高齢化は健康寿命を伸ばす、医療費の抑制とクオリティオブライフの向上。少子化は地域社会で子育てする。生産年齢人口の減少は、新生産年齢人口(20歳~74歳)とすれば6割維持できる。人口総数の維持を目標とするのではなく、持続可能な出生率を重視する。地域力を高めること、人とひとがつながり、安心して自由闊達な信頼社会をつくること。

<自治体改革の実現力>元吉由紀子氏

行政改革から自治体改革へ。何のために変えるのか、何をめざすのか。戦略をやりきれる力はあるか、新しい価値を創造し続けられるか。オフサイドミーティングにおいて、ゼロベースで考える、目標が腹に落ちているか、どんな働き方をするか具体的にイメージを持つ。

三重県は生活者視点を重視、生活者課を設置して縦割りをとりくずし、ワンフロアーにした。

〈人口減における自治体イノベーション〉今井 照氏

自治体の使命は市民の安全と生命を守ること。福島役場職員が見た原発の避難と震災復興について、詳しく内部状況を本にされた。

地方創生は人口減少政策の失敗を国から地域へ転嫁させたものである。

福島を出た方は、帰りたいが帰れない、元のふるさとではないから帰れない、そこに原発があるから。

現実、ゴーストタウン化した福島を見てきたものとしては、よくわかる話である。除染をしたからと言って住めるのだろうか、元のように農業が営めるのだろうか、とてもそうは思えない。ふるさとに帰れない人を創った国の責任は重いと思う。

〈地方議会の役割と再生〉谷 隆徳氏

二元代表制を多様化すると良い。議員が執行部側へ入るとか、住民を加えて厚さをますとか。議会運営が形骸化している。国が作ったものに従わなくてもいい。自分たちにあったものにカスタマイズする。

議会は民意の集約者にとどまらず、情報の発信者になる。小中学生の議会傍聴、子ども議会や「自治」を学ぶ出前講座なども。

地方制度の改革では地方の選挙制度を変えなくてはならない。

まとめ

多くの識見者を集めた研修会であり、さまざまな角度から話を聞くことができた。議会改革を進めているようで実は中身が伴わないところ、自治体職員の働き方を見直すことで自治体が変わるのでは、人口減少は受け入れてその先の問題を見据えることなど、気付きが多い研修であった。

領収書

WEB G9fZ0Row3S-5VTN0-161013-0-1000  
表示日 2017年05月14日(日)

阿部友子

様

金額	¥26,590- (税込) クレジット支払い 三井住友カード (クレジット支払い ¥590- 含む / ANA SKYコイン ¥26,000- 含む)	航空券番号	1010161508090011
但し	運賃および税金・料金等	照会番号	S6MC96
航空券発行日	2017年05月14日(日)		

上記、正に領収いたしました。

本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。

**ANA** A STAR ALLIANCE MEMBER  
全日本空輸株式会社 All Nippon Airways Co.,Ltd.

航空券明細

WEB G9fZ0Row3S-5VTN0-161013-0-1000  
表示日 2017年05月14日(日)

ご搭乗者名/照会番号

アベトモコ様 (S6MC96)

搭乗日	便名	区間	クラス	運賃	運賃額(税込)	運賃適用基準日
2017年05月18日(木)	ANA244	福岡 - 東京(羽田)	普通席	特割3E	¥26,590-	2017年05月14日(日)
合計金額		クレジットカード支払い	ANA SKYコイン	現金	ご利用券	
¥26,590-		¥590-	¥26,000-		¥0-	¥0-



領 収 書	No. 246
阿部 殿	平成29年 5月18日
¥ 15,000	
<p>但し 日本自治創造学会研究大会 参加費(資料代含む) (29.5.18~.5.19)          上記の金額を領収いたしました</p>	
<p>財団法人 日本自治創造          理事長 [REDACTED]          〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町          タック馬喰町 707 [REDACTED]          TEL 03(5623)0472 ・ FAX 03(5623)0473</p>	

ご搭乗案内 BOARDING INFORMATION

マイル受付済 AMC

アベトモ 様

行先 DESTINATION  
東京/羽田  
TOKYO/HANEDA

搭乗日 DATE  
2017年 5月18日

便名 FLIGHT ANA 244

座席 SEAT 39B

照会番号 SGM09601

携帯電話の電源はお早めにお切りください。

参考様式

支出内訳書の番号 3	
調査研究報告書	
1 名称	広報紙発行費 「友便で～す」No.40、No.41、No.42、No.43
2 目的	議会活動の報告・周知のため
3 実施時期	平成29年5月～平成30年1月
4 実施場所	古賀市内
5 参加者	
6 その他	別途広報紙添付

## 友便ポスト



### 武士の掟

武士階級が守るべき「武士の掟」すなわち武士道とは「高き身分の者に伴う義務」のことである、と新渡戸稲造の「武士道」に書かれています。もともと戦うことが職業という武士でしたが、次第に支配階級の一員として身につける名誉と特権が大きくなるにつれ義務も責任も重くなってきたようです。その規範となったのが「高き身分の者に伴う義務」だったのです。

政治家、社長、先生などを「高き身分の者」とするのには異論のある方もおられるかもしれませんが、最近のニュースを見るにつれ、それらの人の中に、武士道で最も忌まわしい

とされた、卑劣な行為や不正な振る舞いじゃないか?と思うことがあります。また、子どもにとつて、親は「高き身分の者」かもしれません。

ともかく、高き身分の人達には「人として正しい道を歩み、行動する。」かっこよさを私は求めています。



代表世話人 長谷川 靖

### ◇ 平成28年度政務活動費報告 ◇

この市議会では、議員1人当たり年間12万円の政務活動費が交付されます。政務活動費とは、議員が調査研究その他の活動に充てることができるとお金です。4月には収支報告書を提出します。

調査研究費	0	研修会参加	3回
研修費	108,260円	「友便で〜す」発行	
広報費	388,438円	広聴費	0
広聴費	0	資料作成費	0
資料作成費	0	資料購入費	6,066円
資料購入費	6,066円	事務費	0
事務費	0	支出处分	502,754円

議会のホームページから検索できます。

3月議会では、市長の施政方針について、各会派の代表が質疑を行います。今年も、会派「連」を代表して阿部が「住民自治をすすめるには」と題して質疑をされました。詳しくは議会ホームページ、「議会だより」をご覧ください。

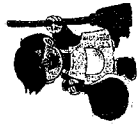
次回 第2回定例会(6月議会)は  
**6月8日(木)**からの予定です  
 一般質問は10:20、21日の予定です

### \*\*\* 編集を終えて \*\*\*

3月議会中は他のことに気を向ける余裕がなく、ひと月がいつのまにか過ぎてしまったという感じが毎回持ちます。気がつくともう4月。「友便で〜す」の発行が今回で40回を数えました。「読んでるよ」、と声をかけていただくことが何よりの励みであり、喜びです。

「友便ポスト」のファンも多く、わすれがばかりの情報とともに、読んでくださる方がいると嬉しい気持ちがあります。今回は、政務活動費の報告を掲載しています。

## 古賀市議会議員 あべ友子活動報告



# 友便で〜す!

2016. 4. 22

No. 40

〒811-3117 古賀市今の庄 1-1-34 TEL & FAX 942-7343 Eメール: office2@tomoko@mie.biglobe.ne.jp  
 ブログ: <http://tomokoabe.blogspot.jp/>

### 市長の施政方針

## 将来を見据えた持続可能な自治体運営を行う

### 平成 29 年度 予算 決定

**総 額 350億8,879万円** (前年度とほぼ同規模)  
**一般会計 196億7,359万円** (前年度比0.2%増)  
**特別会計 154億1,520万円**  
 (水道会計含む)

平成 29 年第1回定例会(3月議会)が終了し、平成29年度の予算が決まりました。昨年とほぼ同額の予算規模です。厳しい財政状況の中、将来の布石となる新しい施策を盛り込んだとのこと。市制 20 周年を迎える節目の年でもあります。

### 平成29年度の主な事業 将来の布石となる施策とは?

- コレニ二交付手数料 住民票・印鑑証明書などがコンビニでとれます **64万円** (マイナンバーカードのある方のみ)
- 私立保育園運営補助事業 ほかつみ保育園改修予定 **1億2,916万円**
- 観光拠点設置可能性調査 観光協会へ補助し市のPRに取り組みます **767万円**
- 公共施設管理運営事業費 学校施設等長寿命化計画策定 **3,012万円**

- 病児保育事業 東医療センター内に開設 **673万円**
- 病児保育事業 東医療センター内に開設 **673万円**

- ししび児童センター開設 旧隣保館2階に子どもたちの居場所ができます **1,376万円**

- ワンコイン(500円)健診導入 特定健診受診率向上をめざす **3,205万円**

- 骨髄等移植ドナー支援 提供者に助成金を交付 **140万円**

- 青年農業者活動支援 次代を担う農業者による組織的な活動を支援する **30万円**

- 西鉄宮地嶽岳線跡地整備 花鶴川から西小学校までの詳細設計を行政区と協議し実施する **1,458万円**

- JR古賀駅ホーム転落防止 対策事業費負担金 **271万円**

- 女性活躍推進支援事業 女性起業入門講座開催など **62万円**

●地域猫活動団体補助  
飼主のいない猫の手術費補助  
**30万円**

●歴史文化普及事業  
市史編纂の準備に着手  
平成39年度発刊予定  
**25万円**

●道路管理費  
市道の路面下空洞調査実施  
**1億5,606万円**

●避難所表示取り付け委託  
指定避難所である小学校に災害種別のサイン表示  
**35万円**

●防災士養成講座補助  
防災士資格取得費用の一部補助  
**24万円**

●第2次古賀市健康増進計画及び古賀市食育推進計画策定  
**391万円**

### 3月議会の主な議案

「古賀市まちづくり基本条例」継続審査  
■古賀市まちづくり基本条例は総務委員会継続審査となりました。  
市民への周知が不足、行政区長制度と校区コミュニティの両立で市民の主体的な活動がでさるのか、議会との協議が欠けている等の意見があり、賛成全員で継続審査を要すると決定。

ししぶ交流センターを設置  
■ししぶ交流センター条例制定  
可決 賛成しました  
子どもたちの居場所として旧隣保館2階にししぶ交流センターを開設。  
これで3中学校区すべてに児童館ができました。利用時間は10時から20時まで

テニスコートの有料化  
■古賀市立テニスコート及び勤労者テニスコート設置条例を一部改正し使用料を定めました。  
1時間1コート当たり100円  
徴収は申し込み時に窓口で  
可決 賛成しました

「美郷」、新しい名称が決まりました  
■高田土地区画整理事業による久保区の一部の名称が変わりました。  
可決 賛成しました  
住民に対し新町名を募集。その中で第一候補の美郷に決まりました。

一般会計 市内公共交通網整備事業について決議を可決  
■一般会計予算に対する決議を議員提案しました。  
提出者：阿部友子 賛成者：吉住長敏  
賛成：10 反対：8

■決議の内容（概略）  
1. 議会の政策推進会議が提出した市内公共交通に関する提言を最大限に尊重すること。  
2. 7便減による影響を、平成29年度の早い時期に極力回避、もしくは、代替する措置を講じること。  
3. 1系統別基幹交通を補完する代替交通の運行等をスピード感を持って業務遂行すること。

平成29年度予算で示された西鉄バスの運行計画は、便数が増えるところもあるが、全体で7便減になるという利用者にとっては厳しいものでした。議会の調査では、料金よりも便数を増やしてほしいという意見が多く、今回の運行計画は市民が望むものになっていません。高齢化が進み、高齢者による交通事故多発や、公共交通により生活を維持する多くの市民ことを考えて、早急に市民の利便性の確保を願った決議です。

### 一般質問

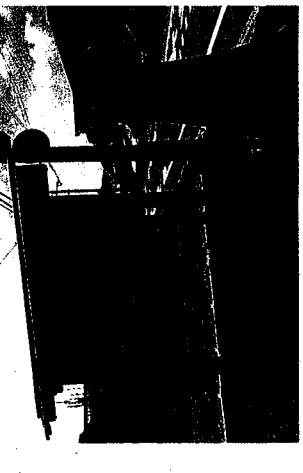
\*\*\*古賀市の文化行政について\*\*\*  
古賀市には、文化芸術振興計画、文化アクションプランがあり、その目的には文化芸術をいかして人やまちを元気にしようという点があります。総合振興計画の文化芸術の創造・継承の基本方針には、文化財と地域固有の歴史・伝統を将来にわたって保存し次世代に継承しますとあります。現状はどうでしょうか。歴史的遺産の保存および文化行政について訊ねました。

阿部 古賀市に残る歴史的遺産の保存について、また、古賀市の文化行政全体の現状についてどう考えているか。  
教育長 船原古墳などの貴重な文化財は、文化財保護法に基づき保護・保存をしている。古文書などの郷土資料については、歴史資料館において保存・保管をしている。昔の生活や歴史については、各地域の高齢者に話を伺い記録して残す作業を進めている。失われつつある古賀の歴史を次世代に継承していきたいと考えている。  
文化行政全体の現状については、昨年度まで生涯学習推進課で所管していた文化芸術に関する事業を、今年度から新設した文化課に移管した。古賀市文化芸術振興計画に基づき、心安らぐま

\*\*\*職員のフラスワン活動\*\*\*  
今日の自治体職員は、外から大変厳しい目にさらされている。社会状況の変化の中、与えられた仕事をこなすだけでは住民は満足していただけない。自治体職員自らが大きく変わらなければならぬ時代。（九州大学准教授 嶋田曉文氏）  
阿部 行政と市民がお互いを理解するため、もっと「対話」が必要。職員に役所を飛び出し、市民生活の現場を知ってほしい。  
市長 職員は、各種審議会や実行委員会はじめ、出前講座やワークショップなどのほか、業務のさ

阿部 歴史的遺産に青柳宿があるが、現状をどう思っているか。  
教育長 観光などアピールするほどの量的なものがない。学校で教材作成などして後世に伝えることは考えられる。

市長 唐津街道は古賀市の大事な歴史的遺産だと思っ。しかし、市が主催して何かをするところまでではない。市民が立ちあがって活動する分には応援しないわけではない。できるだけの応援はしたい。



青柳四角のところにある看板と辻灯



西橋口跡

まざまな場面です。市民の方と直接対話する機会がある。業務以外でも、消防団、自治会、PTA、ボランティア活動などに自主的に参画して、市民と関わっている。  
阿部 市長がめざす古賀市の職員像は、市長 現状は、法令順守、市民目線で親切に対応しているのは評価できる。さらに企画力、上部機関に対する交渉力をつけていければいい。  
阿部 職員の顔が見えない、現場に出てこないよ、ね、という声がある。  
市長 本業をいっしょに加減して地域に出ていくことにはならない。地域に出て行くという気持ちを持っていくようにしたい。

# 友便ポスト

クリンデー (大人の重話)

「次の日曜日は、宇宙ゴミー掃クリンデーです。8時までに宇宙公民館で出席の受付を済ませて下さい。」と地球組の区長さんの声が鳴り響きました。

続いて助役さんの具体的な指示です。「天の川に不法投棄された戦艦や原爆がまだ残っているようです。今回の天の川担当の、アジア、オセアニア組のみならずしるしくお願いたします。1、2組の欧州は、月の裏側を重点に清掃願います。クレーターの間にミサイルや人工衛星を突っ込む人が居るようです。見えない所も美しく！が私達の会のモットーでもありますので頑張ってください。また、ホーキ星の帯は宇宙自然遺産ですので利用は厳禁です。」

再び区長さん「助役の指示に付け加えます。先回のクリンデーのとき、回収した放射性

物質の処理に騒がっております。セシウム137、ラジウム226、プルトニウム239などそれぞれ放射能半減期が違いますので『放射能無力化専用タイムマシン』のタイマーはしっかりと確認してください。セシウムは30年、ラジウム226は1600年、プルトニウムは2万4千年です。」

私達の祖先は宇宙に移住しなければならぬいほど、地球を酷使したり宇宙を乱暴に利用したりしてきてきました。あれからどれだけ経つたでしょうか？地球管理改善軍からの連絡によると、地球の異常気象や様々な汚染も改善され『地球への帰還も間近！』らしい。その日を楽しみにがんばろう。

☆でも賢い人類、こんなことにはならないと思います

代表世話人 長谷川 靖

古賀市議会議員 あべ友子活動報告



# 友便で〜す!

〒811-3117 古賀市今の庄 1-1-34  
TEL & FAX 092-942-7343

Eメール: office21tomoko@mmuc.biglobe.ne.jp  
ブログ: http://tomokoahe.blogspot.com/

2017. 7. 20  
No. 41

## 九州豪雨で被災されました皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

### 6月議会の主な審議

#### 継続審査の まちづくり基本条例 原案可決

第1回定例会(3月議会)で継続審査となっていた「古賀市まちづくり基本条例」の採決の結果は、2つの修正案を否決し、原案を賛成多数で可決しました。

継続審査となった「まちづくり基本条例」は、議会閉会中に総務委員会において4回の慎重な審査、自由討議を行い、委員会における修正案を3:2の賛成多数で決定。本会議に提出しましたが、最終日に議員3名からも修正案が提出されました。採決の結果、議員提出の修正案、委員会提出の修正案のどちらも賛成少数で否決、あらためて原案の採決が行われ、14:4の賛成多数で原案を可決しました。

### 平成29年 活動報告 (4月~6月)

- 4月7日 古賀市都市計画審議会出席
- 8日 リーバスプラザグラウンドオープン式
- 10日 議会報編集委員会
- 11日 古賀中学校入学式出席
- 12日 古賀東小学校入学式出席
- 14日 議会報編集委員会
- 19日 議会報編集委員会、議員連絡会
- 28日 ししん児童センター開所式
- 5月1日 文教厚生委員会所管事務調査
- 9日 文教厚生委員会所管事務調査
- 10日 グランドデザイン発表会
- 11~12日 会派視察(門真市・名張市)
- 18~19日 日本自治創造学会研修会参加
- 24日 議会報編集委員会反省会
- 27日 小学校運動会
- 6月8日 第2回定例議会開催 初日
- 12日 議会2日目 質疑
- 13~15日 常任委員会開催
- 19~21日 一般質問
- 26日 定例議会最終日

### 採決

①議員提案修正案 6:12で否決 → ②委員会提出修正案 7:11で否決  
→③ 原案 14:4で可決  
阿部は、①反対、②賛成、③賛成



### 総務委員会における審議

委員から、①市民等という用語に違和感がある。②自治会のところは、住民自治を担う自治会に加えることを加えては、③議会のところは、議会基本条例に基づいて活動しなければならぬ、と加えては、④基本構想だけでなく総合振興計画を策定するとし、さらに、⑤議会の議決事項として盛り込んで、等の意見がありました。

- 委員会提出の修正案：市民を定義、議会の役割を追記、職員の自己研鑽を明記した
- 議員提出の修正案：議会の役割を追記、総合振興計画の策定を明記、議会の議決を追記。

### \*浜大塚線上部工事

工事請負契約の締結  
契約金額：231,768,000円  
工事請負人：松尾建設(株)  
福岡支店  
[賛成しました]

### \*農地情報全国で公開

農地情報公開システム整備事業の実施にあたり、個人情報保護条例に基づいた手続きをするもの。日本全国の農地情報が入力された上で閲覧することが可能。  
[賛成しました]

### \*岡部記念福祉会館 撤去 駐車場に

昭和46年に建てられた福祉会館は、耐震診断の結果、安全性が確保できないことから解体・撤去する。  
[賛成]

次回 第3回定例会(9月議会)は

8月29日(火) からの予定です

### \*\*\* 編集を終えて \*\*\*

異常気象なのか、九州の集中豪雨は、大きな被害をもたらしました。亡くなられた方のご冥福を祈り、被災された方には心よりお見舞い申し上げます。自然災害の前には人は無力に近いのではと改めて思っています。土砂崩れは止めようがないし、降りだした雨は止めることはできません。先日、新宮町で発生した竜巻も、発生する竜巻を消すこともできません。異常気象によって起こるものであれば、そうなる前の私たちの日々の生活の見直しが必要になってきます。また、大きな被害にならないよう日頃からの備えも大事。自分だけ災害に会わないということはありません。

友子

## 女子の一般質問

### \* 取り戻せるか少女たちの未来 \*

子宮頸がんワクチンの副反応被害について1年前に取り上げましたが、その後の状況について、症状が悪化し、未だに治療法が見つからず苦しみ続ける被害者と苦悩する家族について、国の救済状況についてなど知っていただきたいと思えます。被害者に寄り添う支援をお願いします。

**阿部** 古賀市では子宮頸がんワクチン接種者について、接種後の追跡調査をすみやかに実施していただきたいが、アンケート調査結果についてはどうだったか。

**市長** アンケート調査により、副反応ではないかと心配する相談が8人からあった。被害者には、救済制度の案内を行うとともに、生活または治療に関する相談に応じている。できる限りの支援を行っている。

**阿部** 副反応に苦しむ被害者の方々は、今、東京、大阪、名古屋、福岡において、119人の方が国と製薬会社2社に賠償を求め訴訟を起こしている。先日(6月14日)に福岡地裁で第4回目の口頭弁論が開かれた。古賀市のYさんが、体調不良を押し法廷に立った。(3面に掲載)

「失った普通の生活を返してほしい」「二度と同じように苦しむ子を出さないためにできごとをほしい」。少女たちは、卑いすや杖をつきながら、必死の思いで法廷に立ち現状を訴えている。

しかし、国と製薬会社2社ともにワクチン接種と健康被害の因果関係を否定している。

国がその事業により少女たちの未来を奪って苦しめている。接種を推奨した古賀市にも責任がある。

目の前の窮状に、国の結論を待っているのは少女を救えない、市にも責任があると、宮崎市、宮古島市、名古屋市、足利市など、独自に救済を進めている自治体もある。国の救済制度には時間がかかる。

古賀市独自で救済を考えていただきたい。市長 大変つらいところである。国の動向、他の市の状況を踏まえ鋭意検討する。

### 子宮頸がんワクチンとの問題とされる点

- \* サーパーバックスの添付文書には「劇薬」と記されている。また、「予防効果は確認されていない」とも記されている。
- \* ワクチンでは日本初となる遺伝子組み換え技術を使って作られた。
- \* アジュバントと呼ばれる強力な免疫増強剤が添加されている。



### \* 古賀市の観光行政 \*

宗像市の沖ノ島遺産群が、世界遺産登録に向けて大きく動いたことから、古賀市への影響を考え、早急に態勢を整えることが大事ではないか。まだまだ十分でないと思う観光行政について伺いました。

**阿部** 宗像市の世界遺産登録の動きによる古賀市への影響についてどう考えるか。

**市長** 周辺の人の流れが変わることを予想している。古賀市においても人を呼び込む工夫が重要と考えている。

古賀市は「豊かな自然」「薬王寺温泉」「船原古墳」などの観光資源に加え、「食のまち」としての産業観光もある。今年度、観光を活性化し、本市の知名度の向上を図り、観光拠点の整備の可能性について検討する。

## 子宮頸がんワクチン被害 福岡での裁判 Yさんの口頭陳述から

小さい時から絵を描くことが好きで、中学の時は美術部の部長をつとめ、特選を受賞したこともあり。高校は服飾デザイン科のある学校に進学、自分でデザインした服を着て、ファッションショーでモデルのように歩くことが夢でした。高1の時、市から何度も、子宮頸がんワクチンの接種を受けるように通知をもらい、がんにならない方がいいかな、みんなも受けているし、と3回受けました。体調がおかしくなくなったのは、3回目の接種から9か月たった、高校2年の時でした。

—— 途中略しますが、このあとには、次々に発症する症状、痛み、学校側の無理解な対応、大病院の「うちに来てもらっても何もできません。もう来ないでください」という仕打ち、有効な治療があるという鹿児島大学の受診をするも、受け入れは難しいと言われ、紹介状をもらって福岡の病院へ。しかし、その病院でも治療はできないと断られるという、苦しい闘病生活がつづられています。

原告になって毎回裁判に参加しています。毎回、製薬会社の長い演説に、いったいなんだ、苦しんでいる私たちを前にして、何が有効だ、安全だ、と強い怒りを感じています。私のような被害者をたくさん出したという事実から目をそらさないでください。

今一番心配なのは、将来のことです。私が歩けなくなってしまうから、母は、仕事を辞めて私を24時間見守り、貯金を取り崩しながら、リハビリや治療に付き添ってくれています。

母がいなくなってもできないので、母がいなくなったらと思うと不安でたまりません。

国や製薬会社には、一刻も早く、有効な治療法を確立して、ワクチン接種前の体に戻してほしい。



一番輝いたであろう青春を奪われた悔しさはいかばかりか、察して余りあるものがあります。

### 平成28年度政務活動費報告

政務活動費というのは、議員報酬とは別に「議会の議員の調査研究その他の活動に資するため」に、年間12万円が交付されます。年度末には収支報告書を議長に提出します。余った分は返還します。

- 研修費:108,260円
- ・市川房江政治参画フォーラムに参加
- ・自治体学会研修会参加
- ・日本女性会議参加
- 広報費:388,438円
- ・「友便で〜」年4回発行
- 資料購入費:6,056円
- ・冊子「地方議会人」購入
- 合計 502,754円



会場のダリア

### \*\*\* 会派視察 \*\*\*

5月11日~12日

●門真市(大阪府)

こども議会の実施状況を視察しました。

中学生を対象とし、4班に分かれ、事前に学習を重ねて模擬議会へ望む。

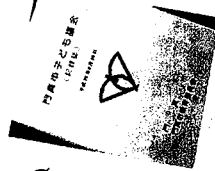
議長・副議長も子ども。

執行部が答える。

●名張市(三重県)

地域づくりについて

合併しなかつた名張市は、財政非常事態を宣言、行財政改革を推進するとともに住民自治の確立にむけて、地域向けの補助金を一括して「ゆめづくり地域交付金」として交付。区長制度を廃止して組織を整理した。地域のことばは地域で考える小さな行政、住民主導のまちづくりの実現を目指してある話を伺った。



## 友便ポスト

### 図書館がいつぱい

「アプリカでは、老人が忙しくなる図書館が一  
つ消えるといえます。地域によって言い回しは違つか  
もしれませんが、この言葉の意味するところは文化  
の違いにかかわらず真実です。」これは、15年ほど前、  
国連のアナン事務総長がマドリッドでの、高齢者問題  
世界会議の演説の中で紹介したアプリカの譬です。  
また、「高齢者は、過去と現在、そして未来を結び仲  
介者であり、その知恵と経験は、社会にとってかけが  
えない宝です。」とも言っています。

アナンさんの言う「図書館です。かけがえのない宝  
です。」と言う高齢者はかりではないかもしれませんが  
が、少なくとも先の大戦のこと、戦後の混乱した社会  
を生き抜いてきたこと、など若い人たちにまったく分

からないことを知っています。

「28年の水書の時になあー」とか「銅を採掘してい  
た穴があつてなあー」「学校の帰りの楽しみは……」な  
どの経験や思い出をたくさん持っているのは高齢者  
です。ご自分では、意識していないかもしれませんが  
結構な図書館、まずまずの宝が古賀にもいっぱいな  
のです。高齢者の知識、技術、思いなどすべてが受  
け入れられないかもしれませんが、アナンさんの言う  
ように「高齢者は未来を結ぶ仲介者」なのです。

若い人たちは、高齢者の経験、知恵を大いに活用し、  
高齢者は、気楽な隠居感覚で若さに理解と協力をし  
ていくのはどうでしょうか？

代表世話人 長谷川 靖

## 《アウトミーツィング実施》

私たち3人会派の「連」は、  
月1回第4木曜日の17時から街頭に立  
ち、古賀市政に関することで皆さんのナマの  
声を聴く機会を設けることにしました。

立ち話でも、改めて直接携帯に  
ご連絡いただいても結構です。

10月定例行動は林業活性化

連盟九州大会開催のため

10月27日(金)に順延予定です

次回 第4回定例会(12月議会)は

11月29日(水)からの予定です

## \*\*\* 編集を終えて \*\*\*

防災士の講習を受けました。その中で、いか  
に日本は自然災害が多いかを知りました。  
東北、熊本、身近な朝倉はもとより、日本中  
たるところで大災害が起きています。どこでも  
起こり得ることです。しかしながら、多くの  
は自分のところは別だと考えています。そこが

## 市民の声を傾聴する場

### 議会報告会のお知らせ

古賀市議会は議会基本条例で市民と自由  
意見交換できる場をつくることを定めていま  
す。今年は下記の日程で3会場で開催します。  
最寄りの会場へお気軽にお越し下さい。  
議員は3班に分かれて担当します。

(1) 11月18日(土) 13時30分

古賀東区公民館 (蒲原)

(2) 11月18日(土) 17時30分

花見東1区公民館 (吉住)

(3) 11月19日(日) 13時30分

青柳区公民館 (阿部)

大きな問題であると講師は力説されました。  
私も例外ではありません(その反省もあって講  
習を受けました)。防災の意識啓発のためにも  
防災士の講習はお奨めです。何事にも備えあれ  
ば憂いなし。(分かつちやいやいけど……)

友子



〒811-3117 古賀市今の庄 1-1-34

TEL & FAX 942-7343

Eメール: office21tomoko@mue.biglobe.ne.jp

ブログ: <http://tomokoaabe.blogspot.com/>

## 平成28年度決算を認定

■総額(一般会計 + 特別会計の合計)

歳入 337億9032万円

歳出 328億3064万円

9億5968万円(翌年に繰り越すべき財源6151万円)

(実質約9億円の黒字)

### ●一般会計

歳入 202億4648万円

歳出 194億9332万円

### ●特別会計

	歳入	歳出
介護保険特別会計	34億5863万円	32億7550万円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	2396万円	843万円
国民健康保険特別会計	69億3883万円	69億7212万円
後期高齢者医療特別会計	6億6665万円	6億6586万円
公共下水道事業特別会計	17億6934万円	17億3504万円
農業集落排水事業特別会計	6億8641万円	6億8034万円

### ●水道事業会計(公営企業会計)

・収益的収支 収入11億6325万円 資本的収支 収入 1176万円

支出10億 325万円

支出 3億4690万円

## 平成28年度 決算認定に賛成しました。

= 評価した施策 =

★小・中学校少人数学級実施(対応講師配置費用): 30,665,764円

★ヘルスモニターン設置を進めた地域健康づくり活動促進事業費

平成28年度新たに2ヶ所設置(合計7ヶ所): 696,372円

★企業誘致促進事業: 10,211,091円(企業情報収集業務委託: 10,175,483円、  
玄園園雇用創出基盤整備計画事業: 35,608円)

★男女共同参画啓発事業・男女共同参画計画推進事業: 3,255,083円

★中央公民館研修棟及び周辺施設整備事業: 563,088,507円





## 9月議会補正予算

### ■保育所整備事業費補助

3396万円  
 私立幼稚園運営支援事業費として、ほぼみ  
 保育園が平成31年から認定こども園開設予  
 定にあたり、老朽化した木造園舎の建替え  
 費用を補助するもの。開設による受け入れ  
 児童予定数は、保育所10名、幼稚園15名。

### ■企業誘致促進事業費

109万円  
 企業情報収集の結果に基づき、古賀市へ  
 の移転に積極的な企業を訪問し、企業誘致  
 につなげるため、必要な旅費を計上するも  
 の。10月から来年2月にかけて13社の企  
 業訪問を予定。業種としては製造業、運輸  
 業、卸売業。

### ■水活化奨励補助

940万円  
 農集排水事業特別会計  
 接続戸数増に伴い、不足が見込まれる水  
 活化奨励補助を増額補正するもの。  
 当初は300件を見込んでいたが、供用開  
 始後3カ月が経過した時点でほぼ見込み数  
 に至ったため、見込み数を488件に変更。  
 1件当たりの補助額5万円。

以上主な内容を挙げましたが、一般会計・特別会計の補正予算は、可決しました。

## 人事

●人権擁護委員 印藤 妙子 (再任)

## 請願

「少人数級の推進」と「義務教育費国庫負担  
 制度の拡充」を国の関係機関に求める意見書提  
 出に関する請願：賛成多数で可決

## 意見書

「少人数級の推進」と「義務教育費国庫負担  
 制度の拡充」を求める意見書の提出について：  
 賛成全員で可決

### ■消防団活動事務費 団員退職報償金

658万円  
 消防団員31人分の退職報償金。  
 当初11人の退職予定が31人になったこと  
 による補正。市外への就職、転勤、団員の長い  
 団員の退団によるもの。女性部を設置するなど  
 団員確保に努めているとのこと。

### ■住民基本台帳システム等改修委託

1060万円  
 女性活躍加速のための重点方針により、住民  
 票やマイナンバーカードへの旧姓併記に対応  
 するため、住民基本台帳システム等を改修する  
 もの。



### 水道事業会計

■配水管新設改良事業費 3016万円  
 配水管更生工事に伴う設計業務委託料及び  
 工事請負費の増による補正。  
 福岡地区水道企業団からの受水が、平成30  
 年から増量となるため配水エリアの拡大を検  
 討。その結果、計画に変更が生じ、管更生工事  
 が必要になった。工事場所は今の庄3丁目。

## 女子の一般質問

### \*\*\*公募型補助金は市民活動を活性化させたか\*\*\*

平成26年から始まった公募型補助金制度によ  
 る市民活動支援事業は、4年を経過し、補助金審  
 査委員会の審査が行われました。自発的に行う市  
 民活動ですが、公金を使用するという点で、大変  
 厳しい審査結果が出ました。それは、ボランティア  
 活動を続ける意欲を削ぐほどのもので、多数の団  
 体から市の姿勢に疑問の声があがりました。

問 公募型補助金制度を導入して4年になるが  
 その評価は。

市長 この3年間で19団体に21事業が実施  
 されたことは、市民団体活動の活性化につな  
 がったと評価する。

問 補助金審査委員会の審査は厳しいもので、  
 活動団体は打ちのめされ、意欲を削がれてい  
 る現状がある。

市長 結果的にやる気をなくしたという事実は  
 眞摯に受け止めて、今後の改善につなげなけ  
 ればならないと思っている。

問 公募型補助金制度は財政課が担当している。  
 財政課では市民活動を支援するという視点は  
 持てない。制度は適正であったか。

市長 適正に運用した。3年を経過したことによ  
 る制度見直しの中で、補助金審査委員から、採  
 択基準や補助率、あるいは行政のかかりな  
 どについて答申を受けた。この提言を踏まえ  
 ながら、事業の効果が広く市民に波及できる  
 制度となるように改善していく。



公募型補助金制度により活動する園芸福祉

問 市民活動支援センターはどのようなに関わ  
 ったか。

市長 つながりひろげるのフェイスブックや機関  
 誌「かわかわ通信」を通じて、公募型補助金の  
 周知等を実施した。

問 市民活動を支援する資金確保のため基金を  
 創設しては。

市長 基金の創設は考えていない。公募の手法  
 により活動資金は補助できる。

### \*\*\*いまこそ社会教育の充実を\*\*\*

古賀市は教育立市を掲げ学校教育には力を  
 入れています。学校以外の広く社会で行われる  
 社会教育についてはどうでしょうか。社会教育委員  
 の方々の活動は生かされているでしょうか。  
 社会教育行政について質問しました。

問 古賀市の社会教育の現状について所見を。  
 教育長 社会教育・生涯学習においては、第2次  
 古賀市生涯学習基本計画に基づき、市民の学  
 習、社会参加活動が活発に行われていると考  
 える。

問 社会教育委員の会議の提言をどのように受  
 け止め、活かしているか。

教育長 提言を受け、活かしていく一つとして、  
 「生涯学習笑顔のつどい」の実践活動を行っ  
 ている。

問 社会教育委員と教育委員会、また、市長部  
 局との意見交換は行われているか。

教育長 教育委員会との意見交換は行っている。  
 市長部局へは、提言集を示しているが、意見交  
 換は行っていない。

議員活動を始めて10年の歳月が過ぎました。

このほど、全国市議会議長会から表彰状をいただき  
 ました。これもひとえに皆  
 様方のご支援の賜物と



感慨深く頂きました。  
 ありがとうございます。



竹の秋

この友便43号がお手もとに届く頃には、「合馬の筍」のニュースがテレビや新聞で報じられていることと思います。その筍が最盛期を向える頃を春なのに「竹の秋」と言うそうです。筍は天をめざすようにすくすく育ちますが、親竹のほうは筍を育てようとして養分を吸い取り、ささたり肥やしになってくれ！少しも日当たりが良いようになると、竹林が黄色くならすのが「竹の秋」です。まるで、わが子を育てる親の苦労がたいなものを感ぜさせますが、筍も子どもも立派に育って、れれば親の苦労も報いられます。

ところで昨年末に、会計検査院の2016年検査報告で、国費の「無駄遣い」や「不適切な会計処

理」が874億円あったそうです。国民が、所得税・地方税・健康保険税など名称はともかく、納めた税金が適正に使われていないか、874億円と言うことになるわけです。会計検査院の指摘の「無駄遣い」の中には、国政調査活動費、文書通信交通滞在費、国有地が格安で売却された問題やくつついたり離れたりしている党への政党助成金などが含まれていませんので、広い意味での「税金の無駄遣い」は他にもあるかもしれません。親竹が養分を与え、葉を落とすなどして筍が立派に育つように、税金と言う養分を上手に使ってみんなが納得いく政治をお願いしたいものです。(県市町村もです。) 代表世話人 長谷川 靖

平成29年 活動報告 (10月~12月)

- 10月3日 議会報編集委員会
5日 議会報編集委員会
10日 会派「連」9月議会反省会
11日 議会報編集委員会視察受け入れ
13日 文教厚生委員会 文化協会と懇談会
15日 福祉まつり
16日 議会報編集委員会
20日 補助金審査委員会傍聴
21日 大根川一斉清掃実施
民生委員 100周年記念式典出席
議会報編集委員会
議員連絡会、湾岸議会研修会
議会報編集委員会、農業女性と懇談
林活議連大分大会参加
文教厚生委員会所管事務調査
文教厚生委員会所管事務調査



- 11月1~2日 文教厚生委員会視察(白書町・米子市)
3日 文化の日式典出席
19日 議会報告会
22日 議員連絡会、議会報編集委員会
30日 議会初日
12月4日~18日 第4回定例議会



恒例の大根川一斉清掃
2月24日(土) 9時30分~
市役所ウラ 水道課前集合

次回 平成30年第1回定例会(3月議会)は
2月27日(火) からの予定です

編集を終えて

酒から成にバントタッチ、新しい年が始まりました。犬は忠犬ハチ公に代表されるように、盲導犬や介助犬など人の生活に忠実に貢献してくる一番身近な動物ではないでしょうか。しかし、昨今は犬を飼う人より猫を飼う人が多いようです。高齢になること散歩が大変、高価で買えない等の理由からとか、超高齢化、貧困化の世情を反映しているのでしょうか。

古賀市の高齢化率は24%と4人に1人は高齢者となりました。私も今年には70歳という大台に乗ります。健康には特に心したいと思います。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

友子



友便で〜す!

〒811-3117 古賀市今の庄 1-1-34
TEL & FAX 942-7343

Eメール: office21tomoko@mus.biglobe.ne.jp
ブログ: http://tomokoabe.blogspot.com/

謹賀新年

みなさまにおかれましては穏やかな新年をお迎えのことと存じます。
昨年は大変お世話になりました。
本年も、変わりなくご支援いただきますようよろしくお願い申し上げます。
今年の元旦も天候に恵まれ、穏やかなお正月となりました。しかも夜には見事なスーパームーン、今年への期待が膨れました。
しかし、昨年は北部九州豪雨により、朝倉地域などが大きな被害を受けました。政教の世界では、突然の衆議院解散・総選挙で安倍政権の一角が進み、憲法改正が現実味を帯びてきました。平和憲法による平和な世代へ繋ぎたいものです。
少子高齢化の進展により、不安材料はいっぱいですが、隣近所、地域のつながりも強くなること、防災にも日々の生活にも役立つのではないかと思います。
一年の計は元旦にあり、と言いますが、今年も穏やかな一年となりますように祈ります。

平成三十年

阿部友子



12月議会の主な審議

一般会計補正予算総額 7億2千万円

賛成しました

市内公共交通網整備事業

72万円

平成26年3月で廃止した市役所、サンコスモ、隣保館の間を走るシャトルバスの代替交通としてタクシーを無料で利用できるようにするもの。委託費を計上。

荒廃森林再生事業費

1752万円

間伐面積の増加に伴う委託費の増。こもの地域の間伐を増やす。

消防団活動事務費

839万円

平成30年4月から新しい制服になる。新基準活動服一式24,840円、338人分

障がい者自立支援給付費

1億1605万円

放課後等デイサービスの利用者が増えたため

私立保育園整備支援事業補助

2億6574万円

老朽化及び入所児童数の増加に対応するため、定員増を含む床面積の拡大を行う必要があることから、花見光保育園の増改築にあたり、補助金を支出するもの。

地域介護・福祉空間整備等施設整備補助

717万円

高齢者施設2ヶ所にスプリングクラー設置。「あかね」と「笑顔満開」はなこば古賀」

●古賀市適応指導教室条例の制定

古賀市青少年総合センターの廃止に伴い、古賀市適応指導教室を、古賀市古賀 278 番地の 1 (花鶴川に面した旧弁護士相談センター跡) に設置する。その設置及び管理について定めるもの。指導員 3 名、ヤングアダルトバイザーによる指導。条例の施行日は平成 30 年 4 月 1 日から。賛成全員で可決

賛成しました

●古賀市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例制定

農業委員会等に関する法律の改正に伴い、古賀市農業委員会の委員を 14 人にし、農業委員会が委嘱する農地利用最適化推進委員を 6 人とする定数等を条例で定めるもの。農地利用最適化推進委員は、資格は不問。業務は、農地の集約化、遊休農地の発生防止、解消、新規参入の促進が主な事業で、地域農業に精通した人がふさわしいとのこと。賛成しました

賛成全員で可決

●古賀市青少年総合センター条例の廃止

古賀市公共施設等総合管理計画を踏まえた施設の集約化、青少年育成機能の充実を目的として、千鳥 3 丁目に位置する青少年総合センターを廃止するもの。青少年育成課は市役所第 2 庁舎 4 階の学校教育課横に、少年センターは中央公民館内へ移転する。賛成全員で可決

賛成しました

●古賀市下水道条例及び古賀市農業集落排水処理施設条例の一部改正

古賀市の公共下水道使用料及び農業集落排水処理施設使用料改定を行うための改正。約 7.7% の使用料の値上げを行う。施行は平成 30 年 10 月 1 日から。賛成多数で可決 (15:3)

汚水の種類	基本使用料	
	汚水量	料金
一般汚水	8 m <sup>3</sup> まで	1000 円 → 改正後 1078 円

賛成多数で可決 (15:3) 賛成しました

★★文教厚生委員会行政視察

鳥取県 伯耆町 (人口 11000 人)

「在宅育児の支援事業」

伯耆町の「在宅育児の支援事業」とは、保育園に預けずに、自宅で子育てする家庭に手当を支給するというもの。親子の愛着形成を醸成する大切な時期の 0 歳児を家庭で保育する保護者に対し、乳児家庭保育支援給付金を支給して経済的支援をします。伯耆町の福祉課長邦繁の事業で、伯耆町発の画期的な育児支援といえます。

伯耆町から近隣の町に広がり、鳥取県も採用するようになったそうです。国も注目しています。是非古賀市にも導入していただきたいと思えます。

伯耆町は、空気を川の流れもきれいで、伏流水は飲料水として出荷されているとのことでした。

★★ 11月1日～2日

鳥取県 米子市 (人口 148,929 人)

「体力づくり歩け歩け大会」

米子市の「体力づくり歩け歩け大会」は、昭和 41 年から現在まで 50 年以上にわたり、毎月一回、オーキングを開催。平均 45 人ぐらゐの参加があるという驚異的な催しです。平成 28 年 4 月には 600 回を迎えたそうです。コースは米子に限定しておらず、近隣市町村の史跡や名所を訪れる 10 キロ程度を歩く一日コース、市内の名所を巡る短い距離の半日コースがあるそうです。参加申し込み不要という手軽さが、長寿の秘訣ということでした。



\*\*\* 地域コミュニティの推進 \*\*\*

人口減少・少子高齢化の進展、市民ニーズの多様化などの社会変化の中、行政サービスだけでは地域課題解決が難しくなっています。地域をつながりを大事にしていく必要があります。そのためには市がコミュニティづくりの考えをきちんと示す必要があると思います。

阿部 人口減少・高齢化の進行、市民ニーズの多様化などにより、さまざまな地域課題に行政だけでは対応が難しくなっている。人と人とのつながりの大切さとともに、地域コミュニティづくりの重要性がマスタープランにも述べられている。古賀市では、長年コミュニティの取り組みが行われているが、指針となるものがない。基本構想の策定が必要ではないか。

市長 地域コミュニティの重要性は認識している。平成 29 年 6 月に策定した古賀市まちづくり基本条例に基づき、今後も地域コミュニティ活動を推進していく。基本構想については今のところ策定の予定はないが、他市の状況等を調査研究する。

阿部 コミュニティづくりと区長制度が 2 本立てになっていて中途半端である。一本化してほしい。コミュニティの必要性を打ち出し、はっきりした方向性を出してほしい。という声を聞くが、市には届いていないのか。

市長 区長会に区長制度の見直しを提案しているが、その中で廃止してほしい声はあがっていない。



他市町のコミュニティ推進計画書

阿部 保育二一ズが高まる中、ゼロ歳児を家庭で保育する保護者に、手当を支給する事業が鳥取県伯耆町で始まった。乳児期は親子の愛着形成を醸成する大事な時期である。古賀市も導入を検討してはどうか。

市長 古賀市は、待機児童ゼロを堅持している。母子愛着形成を目的とした「PPO(いっぽ)」事業もしている。限られた財源の中で事業を選択し、必要な子育て支援を推進していく。

阿部 提案理由をあげると、①子どもにも関わる専門職のあいだでは、ずーつと言われてきたことと、②ゼロ歳児は愛着形成を醸成する大事な時期、③「子ども子育て支援に関する二一ズ調査」の結果から 1 歳半くらいまでは家庭で子育てしたいと望んでいる親が半数近くいる、④家事育児に対価を支払うという考え、⑤幼少期の教育に財源を投じることで、後に大きな成果がある。

福祉部長 多方面での総合的な観点から、もう少し様子を見ていきたい。



費用弁償について

議会の「費用弁償」というのは、議員が議会や委員会へ出席すると、報酬とは別に一定額のお金が支払われるもの。日当とか交通費という考えがある。

議員は議会や委員会へ出席するのが仕事であり、それに対しては報酬が支払われているのに、さらに費用弁償をもらうのはおかしいか、という意見がある。私もそう思うので廃止すべきと考え。

議会では前期から議論し、1 昨年、議会運営委員会で廃止の方向で意見がまとまったが、決定には至っていない。

2017年4月27日

阿部友子様

社会福祉  
法人につ  
き収入印  
紙不要です

内	現金		摘要
	小切手		
	手形	/	
	振込	29160	
	振込手数料		
取	相殺		

金額 929160

社会福祉法人 福岡ニ  
理事長

上記の通り領収致しました。

領収証

No. 174502

取扱者

福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜1丁目11番1号 電話(092)962-0764  
南福岡営業所 福岡県障害者就労支援ホームあけぼの園  
なのみ工芸 なのみ の里  
 取引銀行 福岡銀行古賀支店

2017年9月29日

阿部友子様

社会福祉  
法人につ  
き収入印  
紙不要です

内	現金		摘要
	小切手		
	手形	/	
	振込	27000	
	振込手数料		
取	相殺		

金額 707000

社会福祉法人 福岡ニ  
理事長

上記の通り領収致しました。

領収証

No. 175570

取扱者

福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜1丁目11番1号 電話(092)962-0764  
南福岡営業所 福岡県障害者就労支援ホームあけぼの園  
なのみ工芸 なのみ の里  
 取引銀行 福岡銀行古賀支店

2017年10月26日

阿部友子様

社会福祉  
法人につ  
き収入印  
紙不要です

内	現金		摘要
	小切手		
	手形	/	
	振込	27000	
	振込手数料		
取	相殺		

金額 707000

社会福祉法人 福岡ニ  
理事長

上記の通り領収致しました。

領収証

No. 175596

取扱者

福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜1丁目11番1号 電話(092)962-0764  
南福岡営業所 福岡県障害者就労支援ホームあけぼの園  
なのみ工芸 なのみ の里  
 取引銀行 福岡銀行古賀支店

支出内訳書の番号 3 の領収書 (2) 広報紙発行

2018年 1 月 22 日

阿部 友子 様

社会福祉  
法人につ  
き収入印  
紙不要です

内 訳	現金		摘要
	小切手		
	手形 /		
	振込	7000	
	振込手数料		
相殺			

金額 4,700.00

社会福祉法人 福  
コ ロ ニ  
理事長

上記の通り領収致しました。

領 収 証

No. 176188

取扱者

福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜1丁目11番1号 電話(092)962-0764  
 南福岡営業所  福岡県障害者就労支援ホームあけぼの園  
 なのみ工芸  なのみ工房  
 取引銀行 福岡銀行古賀支店

### 領収書

毎度ありがとうございます

阿部 友子 様

[別納引受]			
区内特別基 (定)	15.0g		
@72	721通	¥51,912	
-----			
小計		¥51,912	
-----			
第一種定形	15.0g		
@82	17通	¥1,394	
-----			
小計		¥1,394	
-----			
郵便物引受合計通数	738通		
課税計		¥53,306	
(内消費税等)		¥3,948	
非課税計		¥0	
-----			
合計		¥53,306	
お預り金額		¥60,310	
おつり		¥7,004	

NO.41

印紙税申告納  
付につき廻町  
税務署承認済



〒100-8798 日本郵便株式会社  
東京都千代田区霞が関1-3-2  
取扱日時：2017年7月23日 12:06  
担当：[REDACTED]  
発行No. 170723A9375 端P88箱03  
連絡先：古賀郵便局  
TEL:092-942-7651

### 領収書

毎度ありがとうございます

阿部 友子 様

[別納引受]			
区内特別基 (定)	14.5g		
@72	727通	¥52,344	
-----			
小計		¥52,344	
-----			
第一種定形	15.0g		
@82	14通	¥1,148	
-----			
小計		¥1,148	
-----			
郵便物引受合計通数	741通		
課税計		¥53,492	
(内消費税等)		¥3,962	
非課税計		¥0	
-----			
合計		¥53,492	
お預り金額		¥55,002	
おつり		¥1,510	

NO.40

印紙税申告納  
付につき廻町  
税務署承認済



〒100-8798 日本郵便株式会社  
東京都千代田区霞が関1-3-2  
取扱日時：2017年4月26日 9:49  
担当：[REDACTED]  
発行No. 170426A8152 端N38箱11  
連絡先：古賀花鶴丘郵便局  
TEL:092-943-5633

### 領収書

毎度ありがとうございます

阿部 友子 様

[別納引受]			
区内特別基 (定)	15.0g		
@72	719通	¥51,768	
-----			
小計		¥51,768	
-----			
第一種定形	15.0g		
@82	17通	¥1,394	
-----			
小計		¥1,394	
-----			
郵便物引受合計通数	736通		
課税計		¥53,162	
(内消費税等)		¥3,937	
非課税計		¥0	
-----			
合計		¥53,162	
お預り金額		¥60,162	
おつり		¥7,000	

NO.42

印紙税申告納  
付につき廻町  
税務署承認済



〒100-8798 日本郵便株式会社  
東京都千代田区霞が関1-3-2  
取扱日時：2017年10月23日 13:04  
担当：[REDACTED]  
発行No. 171023A3216 端N38箱11  
連絡先：古賀花鶴丘郵便局  
TEL:092-943-5633

### 領収書

毎度ありがとうございます

阿部 友子 様

[別納引受]			
区内特別基 (定)	15.0g		
@72	722通	¥51,984	
-----			
小計		¥51,984	
-----			
第一種定形	15.0g		
@82	15通	¥1,230	
-----			
小計		¥1,230	
-----			
郵便物引受合計通数	737通		
課税計		¥53,214	
(内消費税等)		¥3,941	
非課税計		¥0	
-----			
合計		¥53,214	
お預り金額		¥53,304	
おつり		¥90	

印紙税申告納  
付につき廻町  
税務署承認済



NO.43

〒100-8798 日本郵便株式会社  
東京都千代田区霞が関1-3-2  
取扱日時：2018年1月22日 16:58  
担当：[REDACTED]  
発行No. 180122A6061 端N38箱11  
連絡先：古賀花鶴丘郵便局  
TEL:092-943-5633

参考様式

<p>支出内訳書の番号 4</p> <p style="text-align: center;">資料収集作成費</p>	
1 名称	書籍購入
2 目的	情報収集のため
3 実施時期	平成29年4月～平成30年3月
4 実施場所	自宅
5 参加者	
6 その他	<p>地方議会人 平成29年4月～平成30年3月号</p> <p>ふくおか子ども白書 2018</p> <p>子どものからだど心 白書 2017</p>





## 特集 ◆ 若者の定住・交流対策の推進



### 巻頭言 宮口何廻

#### ◆ 特集 ◆

- 「これからの移住・交流施策のあり方に関する検討会」  
中間とりまとめについて  
／後藤 勝
- 都市と農山村の新たな「対流」  
／沼尾淑子
- 島根県江津市：コンテストを通じた「選りすぐる定住対策」  
／尾野寛明

#### ◆ 現地報告 ◆

- 長野県佐久市  
／濱 二郎
- 高知県高知市  
／森田加奈子
- ◆ 議会基本条例を議会に活かす  
・住民に活かす  
／吉田利宏
- ◆ 市町村議員のためのよくわかる  
地方税  
／山本 倫彦
- ◆ 市町村議会広報クリニック

chuubunkasha

## 特集 ◆ これからの救急・救命



#### ◆ 特集 ◆

- 救急安心センター事業  
(#7119)の全国展開  
／総務省消防庁救急企画室
- ドクターヘリの歩みと  
HEM-Net  
／三宅章郎

#### ◆ 現地報告 ◆

- 青森県八戸圏域  
／今 明秀
- 兵庫県豊岡市ほか  
／小林誠人
- 宮崎県美郷町
- ◎ 解説 公営計と財政の健全化  
／亀井孝文
- ◆ 教養講座 第2回  
◆ 議会基本条例を議会に活かす  
・住民に活かす  
／吉田利宏
- ◆ 議員研修講座 ⑨ 最終回  
◆ 市町村議員のためのよくわかる  
地方交付税  
／進 龍太郎
- ◆ 議員研修講座 ①  
◆ 市町村議員のためのよくわかる  
地方税  
／山本 倫彦

chuubunkasha



議員研修誌

# 地方議会人

The Japanese Local Assemblymen

2017 September

共同編集：全国市議会議員会・全国町村議会議員会

## 特集 ◆ 地方創生と産学官連携



### 巻頭言 渡部俊也

#### ◆ 特集 ◆

- 産学官連携によるイノベーションを生み出す環境の整備と地方創生の進展 / 田村直寛
- 大阪大学の産学連携活動の取組とその地域経済への貢献について / 北岡康夫

#### ◆ 現地報告 ◆

- 静岡県浜松市
- 兵庫県姫路市・播磨地域
- 高知県中土佐町

#### 〈 教養講座 〉

- ◆ 議会基本条例を議会に活かす・住民に活かす / 吉田利宏

#### 〈 議員研修講座 〉 ④

- ◇ 市町村議員のためのよくわかる 地方税 / 山本倫彦
- ◆ 市町村議会広報クリニック

chuobunkasha

議員研修誌

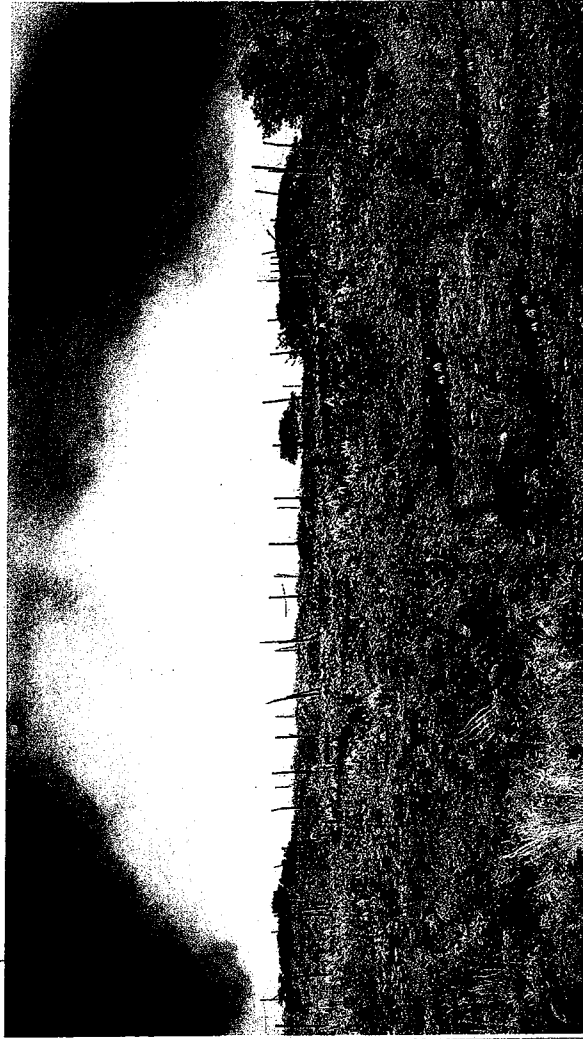
# 地方議会人

The Japanese Local Assemblymen

2017 August

共同編集：全国市議会議員会・全国町村議会議員会

## 特集 ◆ 地方自治法・地方公務員法等の一部改正



### 巻頭言 大山礼子

#### ◆ 特集 ◆

- 平成29年地方自治法改正の解説 / 松谷 朗
- 地方公共団体における内部統制の制度化について / 町田祥弘
- 監査基準の作成について / 池田昭義
- 地方独立行政法人の業務への窓口関連業務等の追加 / 武藤博己
- 地方自治法平成29年改正で議会が考えるべきこと / 田口一博
- 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律（平成29年法律第29号）について / 総務省公務員部公務員課

#### 〈 教養講座 〉

- ◆ 議会基本条例を議会に活かす・住民に活かす / 吉田利宏

#### 〈 議員研修講座 〉 ③

- ◇ 市町村議員のためのよくわかる 地方税 / 山本倫彦
- ◆ 市町村議会広報クリニック

chuobunkasha

## 特集 ◆ 未来を見据えた介護と福祉

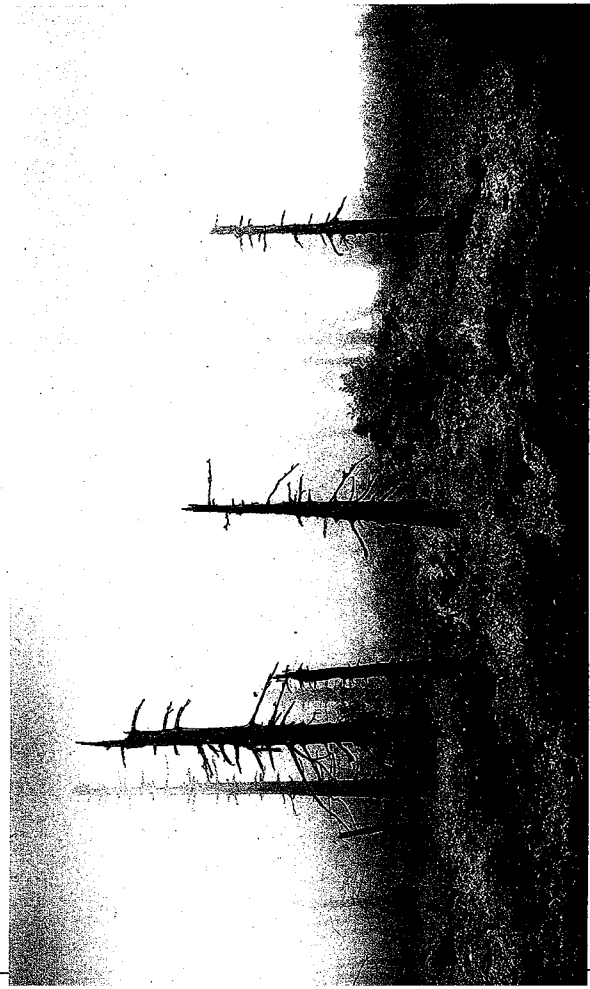
# 11

2017 November

## 特集 ◆ これからの地方議会

# 10

2017 October



### 巻頭言 大熊由紀子

#### ◆ 特集 ◆

- 2018年度スタート  
「第7期介護保険事業計画」  
における市町村「地域メニュー」の重要性 / 橋本敬史
- 今、問われる介護保険の課題 / 白澤政和
- 課題山積の認知症ケア / 浅川澄一

#### ◆ 現地報告 ◆

- 東京都稲城市 / 工藤絵里子
- 長野県富士見町 / 五味健一
- 〈特別寄稿〉
- ◎ 魅力ある議会の創造こそが  
「解消」の正攻法  
／ 手不足問題の解消の道を  
探そう (下) / 江藤俊昭
- 〈教養講座〉 ①
- ◆ 議会基本条例を議会に活かす  
・ 住民に活かす / 吉田利宏
- 〈議員研修講座〉 ②
- ◇ 市町村議員のためのよくわかる  
地方税 / 小谷知也
- ◆ 市町村議会広報クリニック

chuobunkasha

### 巻頭言 廣瀬克哉

#### ◆ 特集 ◆

- 主権者教育の推進 / 船岡悠太
- 地方分権と自治体議会の活性化 / 牛山久仁彦
- 自治体議会改革は進展しているのか / 牧瀬 稔
- 計画・予算への議会の取り組み / 新川達郎

#### ◆ 現地報告 ◆

- 岩手県久慈市
- 長野県軽井沢町
- 〈特別寄稿〉
- ◎ 住民総会による議会廃止  
(の検討) から住民自治を  
考える / 江藤俊昭
- 〈教養講座〉 ⑥
- ◆ 議会基本条例を議会に活かす  
・ 住民に活かす / 吉田利宏
- 〈議員研修講座〉 ⑤
- ◇ 市町村議員のためのよくわかる  
地方税 / 中山貴洋・園増正宏
- ◆ 市町村議会広報クリニック

chuobunkasha

特集 ◆ 2020年東京オリンピック・パラリンピック  
競技大会に向けた地域活性化の取り組み



特集 ◆ 技術がひろく新しい防災



### ◆特集◆

- ホストタウンによる地域活性化  
／多田健一郎
- 地域の魅力を世界に発信  
／國定勇人
- スポーツツーリズムとインバウンド観光  
／高橋義雄
- 2020年FIFAワールドカップのキヤンパ地から学ぶ地域活性化の方策と2020年に向けた課題  
／松橋崇史

### ◆教養講座◆

- ◆ 議会基本条例を議会に活かす  
・住民に活かす  
／吉田利宏

### ◆議員研修講座◆

- ◇ 市町村議員のためのよくわかる  
地方税  
／市川康雄
- ◆ 市町村議会広報クリニック

### 巻頭言 関根正人

### ◆特集◆

- 2020年に向け全国約3万箇所の公衆無線LAN整備を  
目指して  
／渡邊倫幸
- 防災行政無線等の巨別受信機  
の普及促進  
／消防庁国民保護・防災部  
防災課防災情報室
- 防災用途へのドローン活用の  
課題と期待  
／鈴木真二

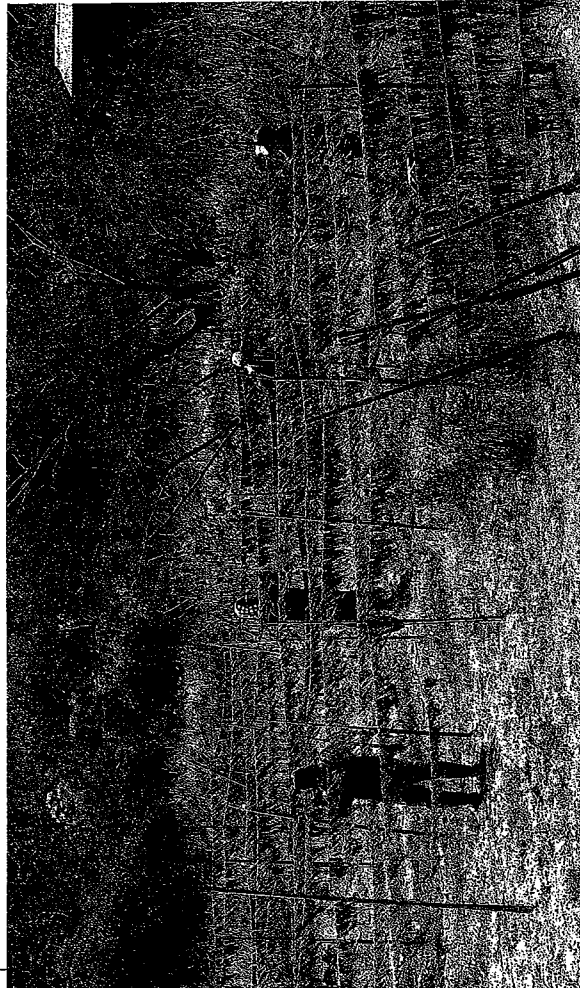
### ◆現地報告◆

- 多磨川流域連携会議
- 神奈川県川崎市  
〈教養講座〉⑧
- ◆ 議会基本条例を議会に活かす  
・住民に活かす  
／吉田利宏
- 〈議員研修講座〉⑦
- ◇ 市町村議員のためのよくわかる  
地方税  
／並木重人
- ◆ 市町村議会広報クリニック

## 特集 ◆ 議会BCP (業務継続計画)

# 3

2018 March



## 特集 ◆ 持続可能な公共施設

# 2

2018 February



### 巻頭言 河田 憲昭

#### ◆ 特集 ◆

- 議会の危機管理 / 新川 達郎
- 災害時における議会・議員の役割の基本的考察 / 鍵屋 一
- 災害時における議会の行動指針の策定状況について / 西川 裕也

#### ◆ 現地報告 ◆

- 北海道芽室町
- 岩手県陸前高田市
- 大分県大分市
- ◇ 議員研修講座 ⑩
- ◆ 議会基本条例を議会に活かす・住民に活かす / 吉田利宏
- ◇ 市町村議員のためのよくわかる 地方税 / 沼澤 弘平
- ◆ 第32回町村議会広報 / 全国コンクール総評・講評

### 巻頭言 保母 武彦

#### ◆ 特集 ◆

- 公共施設等の適正管理のための財政措置 / 伊地知 寛光
- 公共施設の再生と地方議会の役割 / 井上 繁
- インフラの老朽化と自治体の対応 / 森地 茂
- 広域連携時代における公共施設の運営 / 木村 俊介

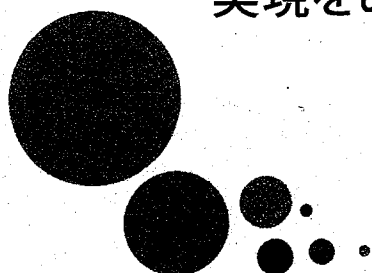
#### ◆ 現地報告 ◆

- 千葉県佐倉市
- 島根県邑南町
- ◇ 教養講座 ⑩
- ◆ 議会基本条例を議会に活かす・住民に活かす / 吉田利宏
- ◇ 議員研修講座 ⑨
- ◇ 市町村議員のためのよくわかる 地方税 / 齋藤 元彦
- ◆ 市町村議会広報クリニック

# ふくおか 子ども白書

2018

「子どもにやさしいまち」の  
実現をめざして



第1章 子どもと福祉

第2章 子どもと家庭

第3章 子どもと教育

第4章 子どもと地域

第5章 子どもと文化

第6章 子どもと権利保障

第7章 子どもと医療

第8章 子どもと環境

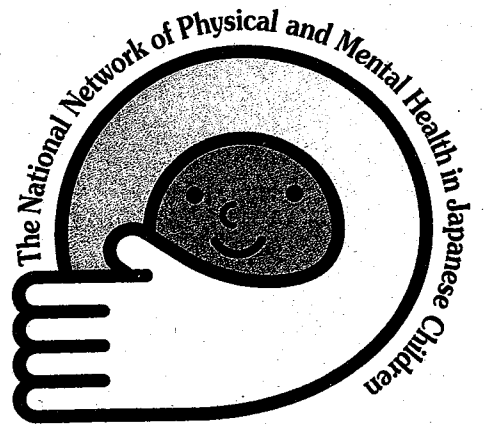
第9章 子どもと市民活動

第10章 子どもの実態調査

特定非営利活動法人

子どもNPOセンター福岡 [編]

協力：子どもにやさしいまちづくりネットワーク



子どものからだと心・連絡会議

# 子どもの からだと心 白書

Annual Report of Physical and Mental Health among the Children in 2017

# 2017

メディア

山村留学

子どもの権利条約

放射線被ばく

生殖医療

からだのおかしさ

性的マイノリティ

事故

体力・運動能力

貧困

運動器検診

組体操

重金属汚染

避難者

子どものからだと心・連絡会議

支出内訳書の番号 4 の領収書

書籍購入費

9024  
領 収 証

阿部 友子 様

29年 7月 10日

¥ 9,024

但し 地方議会人購読料 平成 29年 4月 ~平成 30年 3月  
上記の金額正に領収いたしました

株式会社 中央文化

東京都千代田区一番町25全国町村議員  
〒102-0082 電話 03(3264)245

領収証

2018年 1月 27日

阿部 様

¥ 2,160

但し、書籍、啓発リーフ代として  
上記正に領収いたしました。

特定非営  
子ども  
代表理事

〒810-0023  
福岡県福岡市中央区警  
TEL: 092-724-6323 FAX

領収書

阿部 様

金額

¥ 1,500

但 ふくおか子ども白書2018代として

2018年 / 月 18日

上記正に領収いたしました

特定非営利活動法人  
子どもNPOセンター福岡  
〒810-0023 福岡市中央区警  
警固セント